

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 22 日

事業所名 パル・キッズ・クラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		学習するスペースを設置しています。	利用者様が落ち着いて出来る環境を引き続き行っていきます。
	2 職員の配置数は適切である	3	1	適切に職員を配置しています。	今後も適切な人員の配置をしていきます。また、送迎の工夫を行い、職員の確保をしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	廊下や各部屋に利用者様が分かりやすいように様々な掲示をしています。	今後も利用者様が理解しやすいように掲示していきます。バリアフリー化については、改善に向けて取り組んでいきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		毎月の会議、毎週のミーティングを行っております。また、随時報告し、改善点などを共有しています。	今後も改善に向け継続し、職員で共有して取り組んでいきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		事業所の評価を行い、利用者様のニーズを把握し、職員全員で周知しています。	今後も継続していきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページに記載しています。	Instagramでイベント、行事、日々の活動を公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	現時点では行っていません。	今後検討させていただきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		様々な研修に参加したり、オンラインや事業所内でも研修を行い、他事業所との合同研修も行っています。	今後も職員のスキルアップを目指し、様々な研修に参加していきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		保護者と懇談を行い、アセスメントからニーズや課題を分析し作成しています。	今後も継続していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		標準化し、独自に作成しています。	今後も継続していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		様々な案を職員で話し合い、活動を取り組んでいます。	今後も継続していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		固定化されている活動もあるが、それ以外の活動は月や曜日によって変えながら工夫をしています。	利用者様全員に様々な活動が出来るように定期的に見直しを行い活動内容を固定化されないようにしていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		決まった活動以外に普段出来ない体験や経験を長期休暇に行っています。	今後も様々な体験や経験が出来るようなイベントや活動を取り入れていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		個別活動や集団活動を計画し、実施しています。	今後も継続していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎日、ミーティングを行い、支援内容や活動の役割を確認し、情報共有を図っています。	今後も継続していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		終了後にその日の反省点や気付いた点を話し合っています。また、ミーティングでも話し合っています。	振り返りを行うだけではなく改善できるように今後も職員間で話し合っていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎日、支援経過を記録し、改善に繋がっています。	支援経過から職員で話し合い、支援の検証や改善に今後も随時行っていきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		半年に一回モニタリングを行うとともに懇談もを行い、計画書の見直しを行っています。	今後も半年に一回モニタリングを行い、計画書の見直しを行っていきます。また必要であれば半年ではなく、都度モニタリングを行っていきます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4		基本活動を組み合わせ合わせて行っています。	今後も継続していきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		会議には必ず児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も継続していき、様々な関係機関とも連携をしていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		下校時間や年間行事を书面で頂いています。また、必要の際は情報共有を行っています。	学校との関係を深めていけるように今後も継続し情報共有をしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	保護者を通じて連携体制を図っています。	今後も必要時は主治医との連携も図っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時は連携を図り、情報共有を行って行きます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	現在該当者がおりません。	対象者がいた際には、情報共有を行って行きます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	必要機関と連携を行っています。	今後も積極的に研修等にも参加し、情報交換に努めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	放課後児童クラブ等の関わりはありませんが、就労支援事業所との交流は行っています。	様々な施設と交流が出来るように検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	現在は参加しておりません。	機会があれば、参加していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡ノートや電話等で様子を伝えたり、送迎時にも関わる機会を増やし、コミュニケーションを図っています。	今後も保護者様との関わる機会を増やし、子どもの様子や課題等について共通理解を持って支援していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	1	3	現時点では実施しておりません。	実施は行っていないが、相談があった際には助言を行っています。今後、ペアレントトレーニング等については、検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明を行っています。	契約時、契約書や重要事項説明書を丁寧に細かく説明できるようにしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		相談があった際に適切に対応しています。	今後も相談等に適切に対応し、保護者様とも一緒に悩み等を解決していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	開催を予定していたが、実施に至らなかった。	今後も保護者同士の交流の場を設けていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している			苦情がある際は、速やかに対応しています。	今後も速やかに対応出来るようにしていきます。また、貴重なご意見から、良い支援が出来るように尽力していきます。
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		インスタグラムでの発信や毎月の新聞を発行しています。	今後も、活動や行事の情報をインスタグラムや新聞で発行、配信を行っていきます。
	35	個人情報に十分注意している	4		秘密厳守を徹底しています。	今後も継続し、秘密厳守に徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		送迎時や連絡ノート、電話等で様子や必要な情報を伝えております。	今後も保護者の方たちとたくさんコミュニケーションが出来るようにしていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		年1~2回マルシェを開催し、地域住民の方にチラシを配布し、招待を行っています。	今後も継続して、地域との交流が出来るイベントを開催していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	契約時にマニュアルの説明を行っています。マニュアルが変更になった際には、職員にも周知を行っています。	今後も職員に周知徹底し、保護者の方にもより一層マニュアルについて細かく説明していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	月に1度、様々な避難訓練を想定して行っています。	今後も様々な避難訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	虐待に関する研修や事業所内でも研修を行っています。	今後も継続して行い、職員全員で虐待防止に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	現在、該当者がおりません。	今後、必要時は保護者様と話し合い、適切な対応が出来るようにしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	アレルギー一覧表を作成し、職員が共有できるように掲示しています。またアレルギーの利用者様は徹底し、除去しています。	今後も徹底し、事故防止に努めていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	職員全員にヒヤリハット表を配布し、怪我や怪我に繋がりがりそだった行動を記入しています。また、会議等で話し合い改善策を行っています。	今後も職員全員で共有していきます。